



Until we are all equal

# 気候変動下を 生きる太平洋 地域の女の子

要約

**報告書の共同執筆者:** Kiribati Climate Action Network、Naomi Joy Godden、Kavita Naidu、Trimita Chakma、Zoe Leviston、Maria Nailevu、Pelenise Alofa、Jennifer Merryweather、Robert Karoro、Joy Hu、Pauline Scott、Kylie Wrigley。

**ユース女性と気候正義の共同調査員:**

Maria、Taarawa、Tebwebwe、Rutika、Turinga、Tebwebwe、Salome、M ereoni、Divya Swamy、Laniana、Qaayenaat、Reapi、Loleina、Matilita、Mariti、Maximillian、Tokareeti、Kamoia、Teboranga、Ariti、Bosco、Ramanibin a、Lina、Ekeuea、Wakana、Ruby、Toanfemam、Teretia、Rotiluta、Kilkit ieta。

**推奨される参照:** Kiribati Climate Action

Network、Godden、N.J.、Naidu、K.、Chakma、T.、Leviston、Z.、Nailev u、M.、Alofa、P.、Merryweather、J.、Karoro、R.、Hu、J.、Scott、P.、Wri gley、K. (2024年)。Pacific Girls in a Changing Climate. Plan International Australia and Edith Cowan University Centre for People, Place and Planet。

本プロジェクトは、プラン・インターナショナル・オーストラリア、Kiribati Climate Action Network、Edith Cowan大学のCentre for People, Place and Planet、Australian National大学との共同作業である。

プラン・インターナショナル・オーストラリアは、グローバルに活動する独立した開発・人道支援団体である。歴史、規模、経験のいずれにおいても、この分野では指折りの団体として、プランは子どもたち、ユース、支援者、パートナーとともに、女の子と社会的・経済的に最も困難な状況下にある子どもたちが直面している不公正の根本原因に取り組んでいる。

**Kiribati Climate Action Network (KiriCAN)**は、キリバス諸島に及ぶ気候変動の深刻な影響に専心して取り組む連合体である。2011年に Pelenise Alofaによって設立されたKiriCANは、いくつかの団体が連携して、気候変動に対するレジリエンスの提唱、コミュニティの適応プロジェクトの支援、同国の窮状に対する世界レベルでの啓発に取り組んでいる。KiriCANは、様々な面から困難の軽減に取り組んでおり、気候変動へのレジリエンスのある活動を生むためのコミュニティ研修プログラム導入や、国際的なパートナーとの協力による地域力の強化、国内外の気候政策への働きかけを行っている。

**Edith Cowan大学のCentre for People, Place and Planet**は、地球環境の変化という観点から、参加型手法を用いた学際的調査を実施している。同センターは、人間、生態系、そして土地に根付いた知識の結びつきを再び取り戻し、全世界のウェルビーイングを実現することを目指している。

**Australian National大学**は、オーストラリアの首都キャンベラにあるリサーチ重視の国立大学である。7つのカレッジ(学部)で構成され、その中には薬学/心理学部がある医療/薬学カレッジも含まれる。

## 謝辞

私たちは、太平洋地域の土地・海・空、そしてそこに暮らす人々の守り続けようとする姿勢に対し、感謝と敬意を表す。本プロジェクトに参加した太平洋地域の女の子たち、そして彼女たちの知識と気候正義への献身を称える。

オーストラリアの執筆者たちは、過去から現在に至るまでの先住民の長老たちに感謝と敬意を表す。主権の譲渡は断じて行われておらず、この土地は常に、そして今後も真に先住民の土地であると認識している。彼らが土地、水、コミュニティと常につながっていることを認め、今後も私たちは学び続け、深く傾聴し、連帯して行動することを約束する。



Australian National University

# はじめに

本報告書は、太平洋地域に暮らす10～18歳の女の子・思春期の若者・ユース女性自身が体験している気候変動と、彼らの人権を保護・促進するために求められる行動を提言としてまとめている。

本報告書は、太平洋地域における気候変動が既存の不平等をどのように悪化させ、女の子にとって障壁となり、成人期への移行過程で彼女たちの生活がどのように形を変えているかを詳細に調べている。

本書では、貧困・移住・地理的な隔絶といった経験とともに、ジェンダー・障害・先住民・人種・宗教・セクシュアリティにおける多様性を認め、10～18歳の女の子の身の周りで複雑に交差し合いながら起きる様々な事柄を紹介している。

気候変動と向き合い行動する太平洋地域の女の子に、受け身の姿勢はない。彼女たちは社会変革を目指す活動の最前線に立ち、政府に気候変動対策を促している。

本報告書では、太平洋地域の女の子が主導する変化を、すべての担い手がどのように支援し、リソースを提供し、強化できるかを示している。太平洋地域は気候変動のリスクが最も高い地域であり、太平洋諸国の土地・海・水域が重大な損失と損害を被る可能性がある。こうしたなか、太平洋地域の女の子たちには、法律・政策・開発施策を見直すために必要な、明確な戦略と提言がある。そして、それこそが彼女たちを阻む障壁を取り除き、彼女たちが成長し活躍できる未来への道を切り開くことになる。

## 調査方法: フェミニスト参加型行動調査

フェミニスト参加型行動調査(FPAR)の手法を用い、太平洋地域の6カ国(ミクロネシア連邦(FSM)、フィジー、キリバス、ソロモン諸島、トンガ、ツバル)に暮らす350人超の女の子が、2021～24年の間に本報告書の調査の各段階に参加した。彼女たちは、調査方法の共同設計、アートを通じた語り、319人の女の子を対象とする地域調査、参加型データ分析と執筆、そして提言活動とキャンペーン計画で大いに戦力となり、主導的な役割を果たした。

## 本報告書の読者は?

太平洋地域の女の子は、この地域で気候変動問題に取り組むすべての関係者が、本書を読み、行動することを望んでいる。関係者には、太平洋諸国政府、資金提供国政府、開発銀行、INGO、太平洋諸国の市民社会組織、フェミニスト運動・気候正義運動の担い手が含まれる。

## パートナー

本プロジェクトは、プラン・インターナショナル・オーストラリア・KiriCAN・Edith Cowan大学のCentre for People、Place and Planet、Australian National大学との共同事業である。

## 全編を読む

本報告書の全編には、太平洋地域の女の子たちの目が捉えた気候変動を自身の言葉で伝える語りやアート作品、考察が数多く掲載されている。全編を読まれることを推奨する。次のリンクから: <https://www.plan.org.au/publications>。

# 気候変動が太平洋の女の子の生活を脅かす

FSM・フィジー・キリバス・ソロモン諸島・トンガ・ツバルを含む太平洋地域全域に暮らす319人の女の子を対象に調査を実施した。以下は、彼女たちの声である。

## 82%

の女の子が、気候変動は「家庭・学校・コミュニティでの生活に影響を与えている」と回答。

### 教育の阻害



## 50%

の女の子が、「気候災害により学校に通えなくなったことがある」と回答。

### 健康とウェルビーイング



わずか  
**0.6%**

の女の子が、「自身の健康とウェルビーイングに気候変動は影響しない」と回答。

### 食料不足



## 27%

の女の子が、「気候変動で食料が不足している」と回答し、19%が「空腹を覚える」と回答。

### 水不足



ほぼ  
**50%**

の女の子が、彼女たちの基本的ニーズに最も多く見られる気候変動の影響は、「清潔な真水の不足」であると回答。

### 住居に関する不安



ほぼ  
**3分の1**

の女の子が、「気候変動で家屋が損傷・破壊された」と回答。

# 行動する女の子たちに受け身の姿勢はない。彼女たちはリーダーであり、活動家である。

太平洋地域の女の子は  
気候正義の活動家だ



34%

の女の子が気候正義の活動に参加している。

太平洋地域の女の子は、  
女の子主導の運動をもっと強力に  
展開したい



72%

の女の子が、気候正義のグループとつながりたいと考えている。

太平洋地域の女の子は、  
公正な未来をつくりたい



57%

の女の子が、「気候変動政策と行動に自分たちの声を反映させたい」と考えている。

太平洋地域の女の子は、明るい  
未来を築くためのツールを望む



66%

の女の子が、気候変動に適応する方法を学ぶ教育を望んでいる。

# 調査結果: 気候変動が太平洋地域の女の子に与える影響



通学中の子どもたち、西ガダルカナル、ソロモン諸島  
写真: プラン・インターナショナル・オーストラリア

## 影響1: 環境

太平洋地域の女の子は、気温上昇・水不足・海面上昇・異常気象等、様々な形で気候変動が環境に影響を及ぼしていることを実感している。全体では、73%の女の子が、最もよく感じるのは気温上昇(暑くなる)だと回答している。

環礁諸国であるツバルやキリバス、またFSMの女の子たちの間では、海面上昇と沿岸浸食も実感することが多く、トンガの女の子は嵐・サイクロン・洪水を何よりも実感しており、ツバル・キリバス・FSM・トンガの女の子にとっては水不足の方が重大な問題となっている。

## 影響2: 水、食料、住居へのアクセス

気候変動の影響は、太平洋地域の女の子の基本的ニーズにも及び、清潔で安全な水や良質な食料が入手しにくくなっている。また、安全な住居に定住する権利も脅かされている。

### 水不足

多くの太平洋コミュニティでは、信頼できる真水の唯一の水源として地下水に大きく依存しているが、降雨パターンの変化や海面上昇、都市部の汚染により、水資源が危険にさらされている。

「清潔な水を汲みに行く母親たちの負担を軽くするために貯水タンクを設置し、また、皮膚病や疾病を減らすために、コミュニティの水源の水処理をしてほしいです。保健省とインフラ省がコミュニティに来て、私たちが直面している問題を実際に見て、啓発活動を行うよう求めます。適切な貯水タンクが設置され、水源の水処理がされれば、私たちは清潔で安全な水と健康な体を手に入れることができるでしょう」

Filo、障害を持つ女の子、14歳、地方、フィジー

女の子たちは、真水の不足が衛生状態に影響していると指摘し、体を洗うことや月経管理にも困難を感じていると訴える。



# 47%

の女の子が、基本的なニーズを満たす上で気候変動は清潔で安全な水へのアクセスに最も大きく影響していると回答。

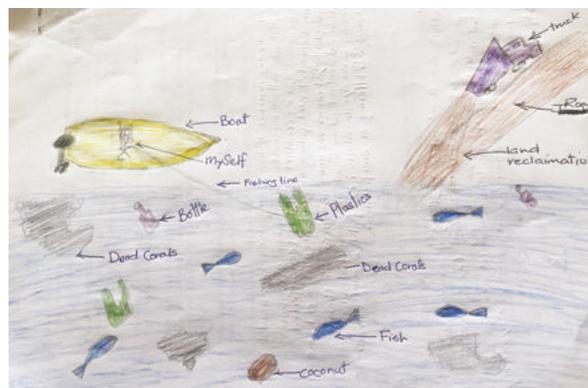
水汲みは女の子の役割であることが多く、気候変動は彼女たちが家事の役割を果たせるがどうかに影響する。水を飲む前に沸騰させることも多くの女の子の役割だ。

### 食料不安

サイクロン・嵐・海岸浸食・洪水は真水の量に影響を及ぼし、土地の塩分濃度が高くなり、農業に適した肥沃な土地が減少して新鮮な果物や野菜を手に入れるのが困難になる。さらに、太平洋諸国は食料と収入を海に大きく依存しているが、酸性化・海洋温暖化・乱獲・汚染により海洋の食料源が脅かされている。

「私は、村で漁獲量が減少し、生計に影響を与えている様子を絵で表しています。昔は漁にでるとたくさん捕れていた海藻や海ブドウ、魚などが今は埋め立てや海へのゴミ投棄によって絶滅してしまいました。海洋資源を再生させるために、一定期間、保護海域で禁漁措置を講じて、これを食い止めることができます」

Ruci、先住民の女の子、15歳、地方、フィジー



3分の1超の女の子が、「気候変動で食料の質が低下した」と答え、27%が「食料が不足している」と回答。こうした声は、ソロモン諸島・トンガ・ツバルの女の子や、遠隔の島や地方の女の子からはさらに多く聞かれる。

### 住居に関する不安

気候変動は、女の子の住居の安全を揺るがしている。

サイクロン等の災害により重要なインフラが損傷を受けている; 22%の女の子が、気象災害により送電線が停止し、電話やインターネット接続が遮断され、遠隔教育が妨げられたと説明。橋・送電線・埠頭の修復の遅れは、コミュニティの重要インフラへのアクセスを著しく制限する。



# 27%

の女の子が、「気候変動によって住んでいた家が損傷・破壊され、家族で避難を強いられた」と回答。

### 影響3: 災害対応(アクセシ性と包摂)

災害情報が入手しにくい、また障害者も利用可能な避難施設が不足している等、女の子、特に障害を持つ女の子は災害対応におけるアクセスと包摂について特有の困難を抱えている。

14%の女の子が、気候変動や災害に関する情報が入手しにくいと回答。こうした声はソロモン諸島(34%)や都市部の女の子(20%)では一層高まる。災害情報の入手は、障害を持つ女の子にとって大きな問題である。

「私の友人には視覚障害や聴覚障害を持つ人もいて、サイクロンに関する情報を入手できません。テレビでニュースが流れても、手話や字幕がないので状況を把握できません。私の周り、特に視覚や聴覚に障害を持つ友人や同僚に対して、行政の支援はまだ不十分です。避難所や日々の暮らしにも、障害者にやさしい設備はほとんどありません」

共創ワークショップ参加者

ラッセル諸島は海拔2メートルに位置する、ソロモン諸島  
写真: プラン・インターナショナル・オーストラリア

## 影響4: 女の子の健康とウェルビーイング

気候変動は太平洋地域の女の子の健康とウェルビーイングに重大な影響を与えており、その影響は、彼女たちの身体的健康、安全と安心、そしてメンタルヘルスにも及んでいる。

### 身体的健康

半数近くの女の子(48%)が、健康面で最もよく感じる気候変動の影響として、「猛烈な暑さ、のどの渇き、疲労」を挙げている。また、調理や入浴のために清潔な水が使えないことや、不衛生な状態、過密状態、栄養不足、埃っぽい空気、汚染が原因で、肌や胃腸にトラブルを抱えているとの回答もある。

女の子は汚染された水が原因で下痢や病気になったり、気候変動で真水の確保が困難になったことで、月経衛生管理に苦労している。

### メンタルヘルスとウェルビーイング

太平洋地域の女の子は、気候変動が彼女たちのメンタルヘルスとウェルビーイングに及ぼす甚大な影響について詳述している。調査では、気候変動の影響を生活のなかで実感することで、安心感が持てず不安になる、心配や恐怖、ストレス、悲しみを感じて心が落ち着かないという声が女の子たちから共通して挙がった。

気候変動の影響は家族のウェルビーイングにも及び、家を失ったり、村を出たために家族と離れ離れになった女の子もいる。

災害時・災害後には身体的暴力、早すぎる強制された結婚、ジェンダーに基づく暴力(SGBV)が生じたものの、「支援サービスを受けることはほとんどできなかった」と回答した女の子も少数ながら存在している。共創ワークショップに参加した女の子は、避難所の安全性の問題を強調した。

「気温が高いと、頭に湿疹やおできができません。天候がとても変わりやすく、息切れや頭痛等の不調の原因となります。暑い晴れた日には頭痛がします」

先住民の女の子、10歳、都市部、フィジー

「気候変動の影響に関する情報はたくさんありますが、一番気がかりなのは今後についてです。故郷の島がどうなるか、次の世代である私たちがわからないのです」

先住民の女の子、18歳、地方、キリバス



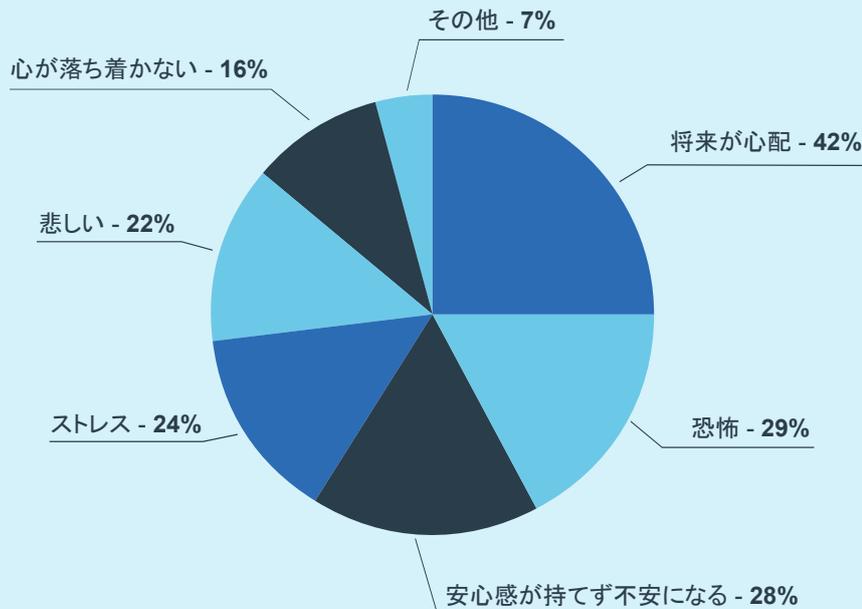


図1. 気候変動の感情への影響

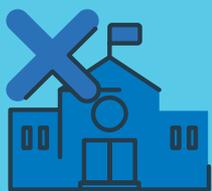
## 影響5: 女の子の教育・遊び・生計

気候変動の影響は明らかに、女の子が教育を受ける機会やスポーツをする機会、そして家族が生計を維持する能力にまで及んでいる。

### 就学と学習の機会

33%の女の子が、「学校が災害により損傷・破壊された」と回答し、13%の女の子が、「村の集会所や宗教施設、テント等、代替の場所で授業を受けている」という。

また、「降雨・洪水・熱波・干ばつにより、通学できない」という女の子の声もあった。道路・橋・交通手段・街灯・歩道・インターネットや電話回線その他サービスの未整備は、特に地方や遠隔地の女の子にとって障壁となっており、低所得家庭では、遠隔学習用の携帯電話・タブレット・インターネット回線を利用できないことが多い。



50%

の女の子が、「災害で登校できず、欠席や就学時期の変更をしたことがある」と回答している。

「問題は、学校や街に行こうにも橋が一つもないことです。学校に行くにもサービスを受けるにも、とにかく毎日川を渡らなければならない。水位が上昇すると、母が私を抱えて川を渡し、学校に行かせなければなりませんでした...」

提言:「私たちは村に、橋・街灯・学校内の歩道・図書室・調査や情報収集のためのネットワーク・学校に隣接したトイレ・水処理された安全で清潔な飲料水等、多くのものを必要としています。行政・NGO・CSO・その他関係者に助けを強く求めます。環境さえ変われば、私の生活や学習環境は安全で安心なものに変わります。最大の障壁は、助けや情報を求めてどこに声をかけたらよいかわからないことです」\*

Lusiana、先住民の女の子、10歳、地方、フィジー

\*これはLusianaの語りの短縮版である。

## スポーツ・遊び・家事労働

気候変動は、太平洋地域の女の子が遊んだりスポーツをしたりできるかも左右する。女の子は、災害でスポーツ施設や学校が破壊・浸水したと説明し、暑さによる苦痛・飲料水の不足・体調不良でレクリエーション活動に参加できないといった影響が出ていると言う。

さらに女の子たちは、気候変動により家事の負担が増えたと口をそろえ、家事をする時間が増えた女の子は19%、食料・薪・水の調達や通学のために長距離を移動するようになったと答えた女の子は11%に上った。

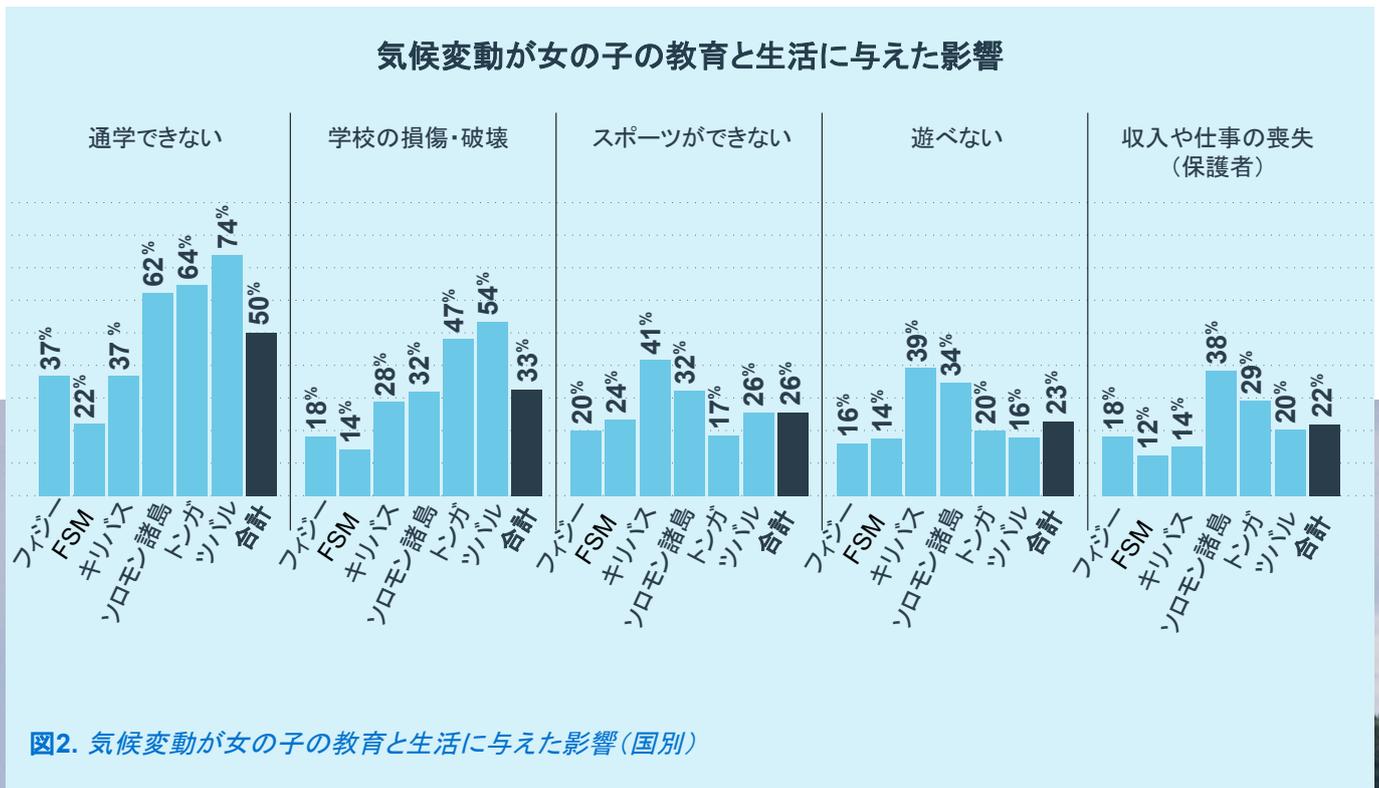
## 家族の生計

女の子たちは、気候変動のために農業・牧畜・漁業という生計手段を失ったことで様々な影響を受けている。22%の女の子が、気候変動が原因で「保護者が

収入や仕事を失った」と回答。こうした影響が、女の子の教育的機会に及ぶ場合もある。

## 影響6: コミュニティと文化

太平洋地域の女の子は、気候変動がコミュニティや文化に及ぼす様々な影響を挙げた。それには、コミュニティの沿岸地域から非沿岸地域への移住、宗教的建造物やコミュニティの建物の損害等が含まれる。4分の1超の女の子が、気候変動の影響で結婚式や葬儀等の行事に参加できないと答え、3分の1の女の子が、踊りや音楽、歌等コミュニティや文化的活動に参加できないと回答している。



海岸近くで子どもたちがカヌーで遊ぶ、西ガダルカナル、ソロモン諸島  
写真: プラン・インターナショナル・オーストラリア

# 調査結果: 太平洋地域の女の子が 求める気候変動への行動



学校の子どもたち、ソロモン諸島  
写真: ブラン・インターナショナル・オーストラリア

## 全体的な主要メッセージ:

各国政府と資金提供者は、太平洋地域の女の子と彼女たちの様々な実体験を気候変動政策とプログラムの中心に据えなくてはならない。

- 太平洋諸国と資金提供者は、清潔な水と適切な避難所を確保し、廃棄物処理をしっかりと改善することで、気候変動に直面している女の子の生活水準を向上させることができる。
- 資金提供者と太平洋諸国は、持続可能な生計を下支えし、農法を改良し、雇用と海外で学び働く機会を創出することができる。

## 行動1: 各国政府には気候変動を阻止する力がある

太平洋地域の女の子たちは、太平洋諸国と資金提供者双方が気候変動を阻止・対処するために採るべき行動の数々を提示した:

- 太平洋諸国は、森林伐採の禁止、樹木・マングローブの造林、節水に向けて厳格な規則を施行しなければならない。また、海洋への土砂の流入を止め、海岸の砂の搬出を止め、防潮堤を建設すること。
- 世界中の全当事者は、工業化と化石燃料やガスの使用による汚染を削減し、炭素汚染を軽減し、廃棄物管理を改善し、最新技術を活用して再生可能エネルギーを増やすこと。

「(漂着や輸出で)キリバスへプラスチックを送り込むのを止めて。ガスの排出量を減らして。私たちの海で漁をするのを止めて。陸と海の両方での石油流出を止めて。リン酸塩の採掘を止めてほしい」

女の子(13歳、地方、キリバス)の提言

## 行動2: 各国政府には、女の子たちが気候変動に対処し、レジリエンスを高める後押しをする力がある

太平洋地域の女の子は、気候変動に対して行動を起こすために必要な支援とレジリエンスを彼女たちが確実に得るために太平洋諸国と資金提供者が採るべき様々な方策を挙げている。

- 太平洋諸国と資金提供者は、気候変動に特化したプログラムやワークショップを提供するとともに、学校カリキュラムに気候変動を組み込むことで、就学前から大学レベルまでの女の子を対象とした気候変動教育を強化することができる。

## 行動3: 各国政府には女の子の視点に立った緊急対応を行い、災害リスクへのレジリエンスを築く力がある

太平洋地域の女の子は、災害時に女の子であるが故に遭遇することに政府と資金提供者がもっと着目することを望んでいる。

- 太平洋諸国と資金提供者は、ソーシャルメディアを活用し、家族を巻き込むことで、学校での防災訓練等、災害への備え方を子どもに教えることができる。
- 太平洋諸国と資金提供者は、早期警報システムを改良し、アクセス性の高い避難施設を確保することができる。
- 資金提供者は、災害時に太平洋諸国のコミュニティに対し、食料・清潔な水・清潔な衣類・医療支援・衛生用品(ケアパックや生理用品等)などの支援を提供できる。

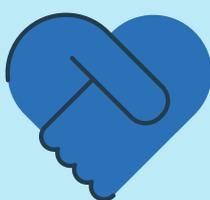
「災害が起こる前に、事前に備えましょう。津波警報が発令されたら、津波が来る前に高台に避難しましょう」。

先住民の女の子(10歳、都市部、フィジー)の提言

# 調査結果: 太平洋地域の女の子による気候正義の活動

女の子、フィジー  
写真: Sandra Stephens

太平洋地域の女の子の気候正義の活動に加わりたいという強い気持ちは、**顕著である。**



**72%**

の女の子が、地域の気候正義のグループとつながりを持ちたいと考えている。

## 1. 太平洋地域の女の子は気候正義の活動に参加したい

本報告書からも、この地域には気候正義を強力に主導し、提言を行うユース女性が数多くいることがわかる。今回調査に参加した3分の1の女の子が気候正義の活動に参加していると回答。調査によると、ツバル(74%)、キリバス(51%)、および離島に住む女の子(75%)の参加率はさらに高い。

「私たちは太平洋地域の女の子として活動に参加して、文書や看板で願いを訴え、皆で公共の場に進み出すことができます」

宗教的少数派の先住民の女の子、  
14歳、都市部、フィジー

16~18歳の女の子は大部分が学校活動・コミュニティ教育・環境プロジェクト・キャンペーンなどを通じて参加しており、活動への参加率はもっと高まりそうだ。

気候正義のための運動に女の子が参加する方法について彼女たちに聞くと、様々な意見が寄せられた。

## 集団的・個人的行動

太平洋地域の女の子は気候正義に対する政府の有意義な行動を促すために、団結して行動を起したいと考えている。以下は、彼女たちが集団として、また個人として、主導・参加したいと考える行動を起こすための戦略である:

- 政府への書簡の作成とコミュニティのリーダーとの対話
- ユース議会への参加
- ストライキと反対運動
- ソーシャルメディアでのキャンペーン
- 植樹やコミュニティ清掃等の保全プロジェクトへの参加
- 防災や気候変動教育への参加

## 2. 太平洋地域の女の子は気候正義の活動家になるために支援を受けられる

太平洋地域の女の子は、彼女たちの気候正義の活動への参加の土台となる重要な3つの要素を挙げた:

**教育と啓発** - 女の子たちは、気候変動と活動に関する教育と啓発が行われれば、活動への参加が促進されるだろうと述べている; 授業・ワークショップ・教材・メディア等を通じて提供される教育や啓発がこれに該当するだろう。

「私は、キリバスの女の子に気候変動への意識を高めるよう働きかけ、キリバスの女の子だけで構成される団体を設立できれば、気候変動対策や気候正義に関わるどんな活動も自主的に行えると考えています」

先住民の女の子、17歳、地方、キリバス

**集団的行動に参加する機会** - 女の子たちは、女の子だけのグループ(男の子とは別)を結成したり、既存の気候正義グループ・組織へ参加できれば心強いと考えており、集団として行動する機会を望んでいると言う。

**コミュニティの支援** - コミュニティの支援があれば気候正義の活動に参加が促されると、女の子たちは説明する。家族や友人が参加していれば、自身も活動に参加すると話す女の子もいる。また、「長老やコミュニティリーダーの承認が、気候正義の活動に参加する上で重要です」と話す女の子もいる。

## 3. 女の子の気候正義の活動への参加を阻む障壁

### 太平洋地域で女の子であるということ

女の子たちは、気候正義の活動に参加する際に、「女の子やコミュニティでの女の子の役割に関する社会・文化規範が大きな障壁になっている」と、口をそろえて言う彼女たちは、災害に関する意思決定から外されており、また、「不安で自信がないため気候変動に関する議論でも力を発揮できないと感じている」と言う。

障害を持つ女の子など、重なり合う差別を受ける女の子にとっては意見を聞いてもらうこと自体、さらに困難になる。

### 支援とリソースの欠如

家族やコミュニティからの支援とリソースがないことも大きな障壁であると女の子たちは解説する。長老や親、コミュニティ住民のなかには気候変動への活動を支持していない者もいるという。加えて、金銭的な制約・交通手段・家庭内で果たすべき役目も参加の足かせになっている。

### 知識と機会の欠如

女の子たちは、気候変動に関する情報と気候正義の活動に参加する機会が少ないことも大きな障壁になっていると考える。

指導者や行政は気候変動に関する情報や教育の提供に困難を抱えており、そうしたなかで、「草の根コミュニティは、実際に起きている単純な情報しか入手できなくなっている」、とプロジェクトのパートナーらは説明する。

「私は都市部から150km以上離れた地方にいるため、気候正義の活動に参加するには地理的な障壁があります。ネットワーク環境も問題ですし、私のコミュニティは非常に保守的で、まだ若くて障害を持つ私の声に耳を傾け、大切にしてくれる人などいません」

Filo、障害を持つ女の子、14歳、地方、フィジー

# 提言：太平洋地域の女の子たちが示す 変革への道筋



伝統舞踊家、フィジー  
写真: Johnny Silvercloud

本報告書に共同調査員として携わった太平洋地域の女の子たちは、気候変動のなかで、すべての担い手が女の子の人権と積極的な参加を擁護するよう提言をまとめた。

## 提言は誰に向けたものか

- 太平洋諸国政府および資金提供国政府
- 太平洋地域に投資し、プログラムを展開するINGOおよび開発銀行
- 太平洋地域で活動する産業
- 太平洋地域のCSO市民社会組織およびフェミニスト・気候正義運動を担うすべての者

## 提言はどう実現されるべきか

変革に向けたこれらの提言は、気候変動とその影響のリスクに最もさらされている女の子を助け、彼女たちにプラスになるものでなければならない。これには、障害・先住民・人種・ジェンダー・性的指向・社会経済的地位・地方/遠隔地居住等、様々に重なり合う形で不平等・不公正・排除の対象となる女の子たちが含まれている。

また、変革の提言は女の子とともに実施されなければならない—彼女たちは、自身を対象とした法律・政策・プログラムの策定において、共同設計・情報提供・方向付けの中心となるべきである。

## 太平洋地域の女の子の権利を守る: 気候変動



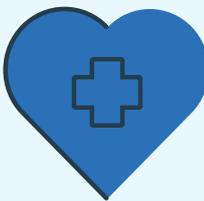
### 1 太平洋地域の女の子は、しっかりと運営され、安全で、気候変動に強い必須インフラを利用することができる

- コミュニティが所有・運営する水の公正な供給に向けた方策を支援し、地方・国・地域レベルでの水の公正な供給を求める女の子主導のキャンペーンを支援する。
- 再生可能で安全かつ安価なエネルギーへの移行を支援し、公平な利用を保証する。
- 特に地方や遠隔地でのインターネット接続を拡充するため、通信インフラに投資する。



### 2 太平洋地域の女の子は、気象災害時・災害後でも質の高い教育を受けることができる

- 気候変動に重点を置き、フェミニスト気候正義・気候変動への適応・災害レジリエンスに関する教育を組み込んだ包括的なカリキュラムを開発し、就学前から、初等・中等教育、その後の教育段階に至るまで、すべての段階の女の子が受けられるようにする。
- 教育機関は健康とウェルビーイングを促進し、災害や気候変動の影響によるトラウマや不安に苦しむ女の子にケアとカウンセリングを提供できるようにする。
- 気象災害時・災害後に、道路・橋・波止場等公共インフラを整備・再建することで、女の子が教育を受け続けられるようにする。仮設学校を安全で、すべての女の子にとって利用可能なものにする。
- (気候変動やその他の理由で)教育を中断する女の子を支援し、再び教育の機会(正規教育・職業訓練・ライフスキル訓練等)を持てるようにする。



### 3 太平洋地域の女の子は、災害時・災害後も健康で安全に生きる権利を守られている

- 気候変動による健康被害を受けているすべての女の子が公平に医療を受けられるようにする。
- すべての関係者が協働して文化的・宗教的規範に対処し、権利に基づく情報・サービス・支援を適時女の子に提供することで、性と生殖に関する健康を促進する。
- 災害後も含め、女の子がトラウマ・うつ・不安等メンタルヘルスに関する問題を克服するために、専門家が権利に基づき文化に配慮して行うカウンセリング・サービスを受けられるようにする。
- 災害時・災害後を含め、SGBVを受けている女の子に適切な支援と保護を提供する。



### 4 太平洋地域の女の子が現場で最初に気候変動への適応と災害レジリエンスに当たる者として、また変化の担い手として力を発揮できるよう、支援・指導・リソースを提供する

- 女の子たちが気候変動への適応と災害へのレジリエンスに最初に現場で対応に当たる者として、また変化の担い手としての役割を果たせるよう、STEMや建設業、その他男性比率の高い分野でのリーダーシップの発揮や就労の機会を与えることで、支援・指導・リソースを提供する。災害後も含め、メンタルヘルスの維持に関する研修を提供する。
- 地域に根差したコミュニティ災害グループを設立してリソースを提供し、メンバーはジェンダーと包摂に配慮した防災研修を受け、10~18歳の女の子も代表者や意思決定者として参加する。

## 太平洋地域の女の子の権利を守る: 法律と政策



**1** 太平洋諸国は、森林・海洋・河川・真水資源・大気・土壌を保護するための法律を見直し・強化・施行する

- 政府は、陸上・海洋環境及び生物多様性を食料と生活の根源として認識し、保護する。
- 政府は、営利目的で天然資源や鉱物資源を採取する漁業・伐採・採掘（陸上/海上）・製造業に対し、法律を策定し、高い透明性をもって施行する。
- 司法・環境裁判所・人権委員会・オンブズマン事務所等の独立機関は、法律や政策を適用して気候変動や環境被害に対する補償や救済措置を取る。



**2** 政策立案者は、太平洋地域の女の子と積極的に対話し、気候変動に関する法律や政策の決定に彼女たちの意見を反映させる

- 政府のあらゆるレベルで、法律や政策の策定、意思決定プロセスに女の子が参加できる仕組みや機会を創出する。
- 政府は、コミュニティで活動する女の子が政府の政策や意思決定に力を発揮できるよう、NGO・フェミニスト運動・教会・伝統的指導者と協働して取り組む。



**3** 政策立案者は、気候変動下を生きる太平洋の女の子の権利を守るため、省庁を越えて協力する。

- 大臣や省庁は、気候変動の影響が教育・健康・生計・文化・環境等、女の子の生活のあらゆる側面に及ぶことを認識し、一丸となって女の子を中心とした対応を分野横断的に実施する。



## 太平洋地域の女の子の権利を守る: ムーブメントの形成



### 1 太平洋地域における気候正義のための女の子主導のフェミニスト運動を強化するためにリソースと支援を提供する

- 女の子が気候正義の視点で提言を行えるよう、包摂的な研修・指導・資金を提供する。
- 女の子たちがコミュニティレベルから世界レベルまで各レベルで気候正義のための提言活動ができるよう、リーダーシップの育成にリソースを投入する。
- フェミニストが集う場をつくり、女の子が提言活動や連帯行動を共同で企画・主導できるようにする。



### 2 太平洋地域の女の子が皆でともに学び、気候正義のための提言が行える包摂的な空間をつくる

- 気候変動が制度と人権に与える影響について、包摂的な教育・訓練・リソースを女の子に提供する。
- すべての気候変動対策・開発プログラム、および気候変動に対するコミュニティ主導の行動に、女の子のリーダーシップ・参加・意見を盛り込む。



### 3 太平洋地域の女の子が実際に遭遇している気候変動と気候変動に対する活動を文書で記録できるよう、指導とリソースを提供する

- 女の子が実際に遭遇している気候変動や、気候変動に対する活動のエピソードと戦略を、多様な表現形式、アート作品、先住民の言語で記録する機会をつくる。
- 気候変動の軽減や適応、損失・損害に関する好事例・解決策・成功談を文書で記録し、共有する機会を女の子に提供する。

ナンディ近郊の村、フィジー  
写真: Unsplash





**Until we are all equal**

**plan.org.au** **13 75 26**

Plan International Australia  
18/60 City Road, Southbank VIC 3006  
GPO Box 2818, Melbourne VIC 3001  
Tel: 13 75 26 Fax: +61 (3) 9670 1130  
Email: [info@plan.org.au](mailto:info@plan.org.au)

ABN 49 004 875 807

© Copyright Plan International Australia. PIA0269

 /planaustralia

 @PlanAustralia

 @plan\_australia